



常務執行役員

児玉 展全

Nobumasa Kodama

---

## トップ性能を目指して

---

近年、省エネルギー、自然エネルギー、およびエネルギーの有効利用に関して、世界的に技術の進歩が目覚ましい状況にあります。その中で、エネルギーを効率よく利用するための重要な技術のひとつに電力の変換・平準化技術があります。自動車業界ではハイブリッド車、電気自動車などへのシフトの動きが活発化しております。また、自動車が電気エネルギー化するとともに、蓄電池の技術、急速充電の技術など、関連する周辺の電力変換技術も進歩しており、当社が長年培った電力変換技術を利用できる分野も、今後はさらに拡大するものと考えております。

自然エネルギー利用の分野において、当社では太陽光発電用のパワーコンディショナを開発しております。パワーコンディショナは太陽光パネルで発電した直流電力を交流電力に、変換するロスを少なくし、高効率で電気変換する技術で成り立っております。太陽光発電は各国の政府の支援もあり、日本のみならず世界中で急速に拡大しております。従来からの風力発電に加え、家庭用の燃料電池の販売も開始され、いろいろな発電形態とともに、電力のネットワーク制御技術が今後は急速に進歩すると考えられます。また、電気エネルギー技術は地球環境との共存のうえで、電力の需要と供給のバランスの最適化を目指した方向へ向かっていくと考えられます。

工場および産業用の機械設備の電力についても注目されております。蓄電池やコンデンサを利用した変換技術により、設備操業中における瞬時の電圧低下を補償したり、瞬時の電力ピークを平準化したり、モータの回生エネルギーを駆動力として再利用するなど、工場におけるエネルギーの有効利用も活発化しております。産業界ではあらゆる方面で、エネルギーをコントロールし効率的に使用する技術が求められております。これらは主に当社のパワーシステム製品が担っている技術分野でもあります。

---

---

当社のクーリングシステム製品、サーボシステム製品のようにモータとモータ制御技術を基礎とした製品分野においても、製品の省エネルギーへの要求が非常に高くなってきております。たとえば、大容量で高速化が進むコンピュータサーバの冷却用のファンは、ひとつの装置に数多く使われるため、ファン1台あたりの性能向上と消費電力低減が重要です。当社では低消費電力ファンの開発に早くから取り組み、製品のラインアップを増やしております。当社はモータ分野においても、省エネルギーを極めて重要な技術として製品開発へ注力しています。他にも、小型・軽量化、より高い性能・精度、高効率、長寿命、複合化、安全性の向上などを目指しながら、モータとモータ制御に関する技術・製品開発をおこなっております。

当社にとって、とりわけ製品開発の技術は事業活動の中で重要な位置付けにあります。日常的に製品性能で競争する環境下にある企業においては、技術開発競争は事業を存続・継続させるための当たり前の活動であり、トップを目指さない限り、2番手にも位置しない結果となり得ることになります。当社は、製品開発においては常にトップ性能を目指し、トップになることを企業活動の最大の目標として取り組んでおります。

当社の技術・製品開発などのマイルストーンである本誌は29号を数え、新しい技術や新製品の紹介がなされております。これらの技術・製品が、地球環境の保全、限られたエネルギーの有効活用につながることを確信しております。これからも当社のトップ性能を目指した技術・製品開発の取り組みに、ご支援とご理解をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。